

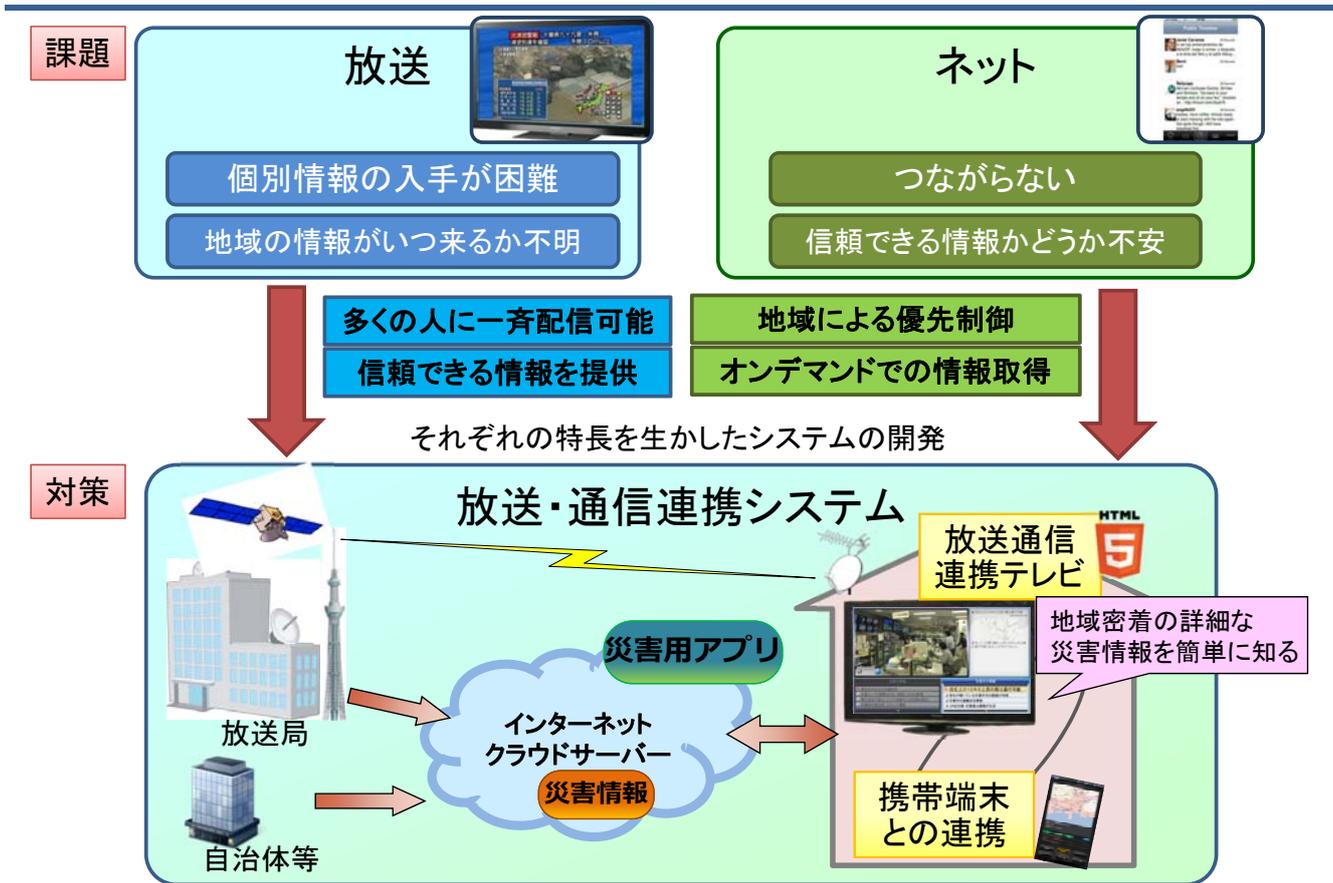
避難誘導

「災害情報を迅速に伝達するための
放送・通信連携技術」

代表研究機関: 日本放送協会(NHK)
共同研究機関: 国立大学法人 東北大学
NTTアイティ株式会社
一般財団法人NHKエンジニアリングシステム

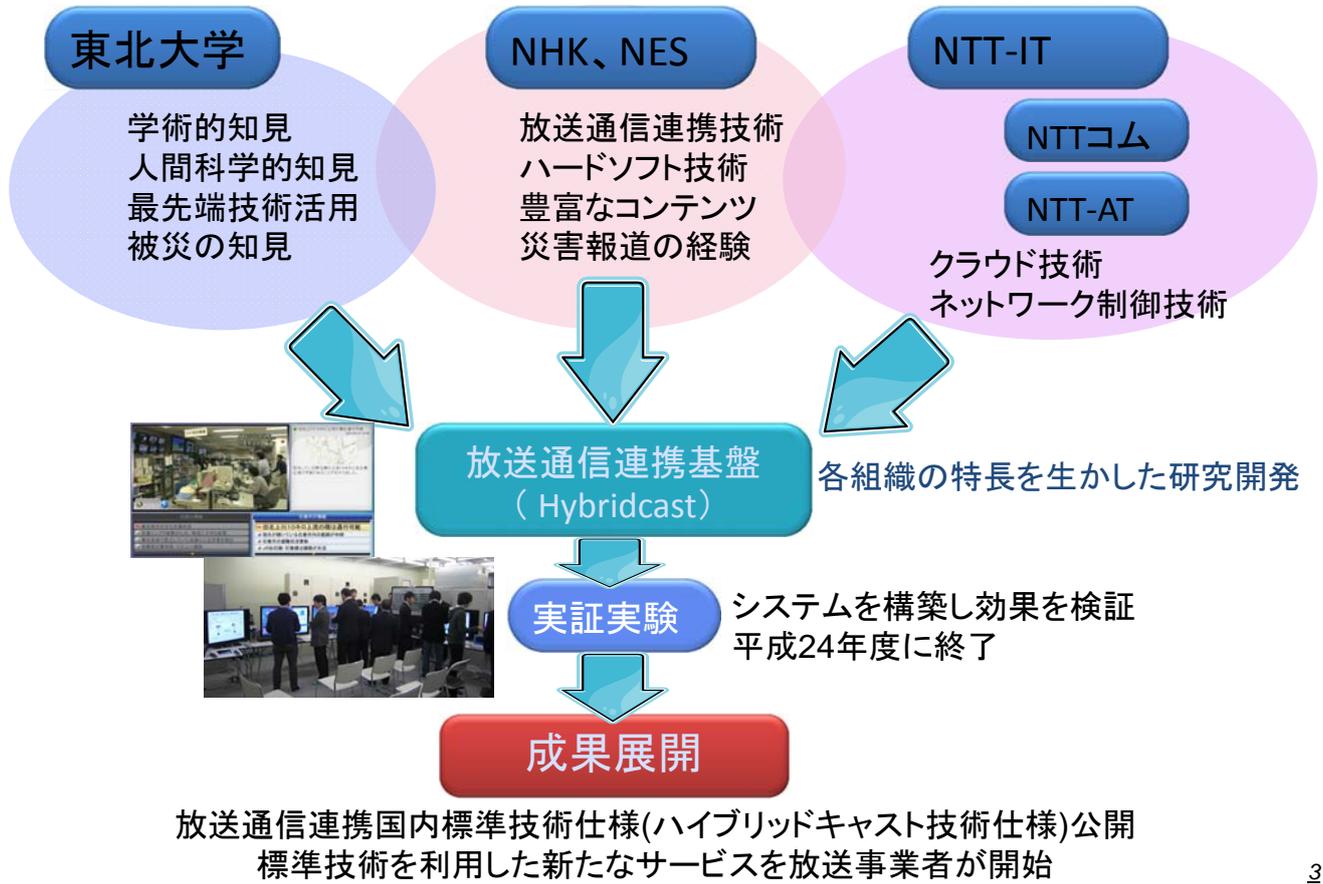
1

東日本大震災を踏まえた課題と対策



2

研究プロジェクトと実証実験



3

これまでの成果

2013年9月2日、NHKがHybridcastサービスを開始



ホーム画面と
スマホ連携



地域別気象情報



スクロールニュース
(ローカル情報、緊急情報)

対応受信機発売 : 4社13シリーズのテレビがHybridcastに対応(2月時点)

民放サービス開始 : キー局他全国で十数局の放送事業者が2014年1月より実証実験参加

制作ツール開発業者参入 : 数社がHybridcastアプリ制作ツールを発表

- ◆ 国内標準技術仕様に基づく放送通信連携基盤の確立
- ◆ ネットによりテレビサービスを拡張する新機能が実現
- ◆ 災害時における有効活用が可能に

4

今後の取り組み

標準化推進



IPTVフォーラム
技術仕様書



関連するARIB
標準規格の改定

「ハイブリッドキャスト技術仕様ver1.0」公表(2013年3月)

「ハイブリッドキャスト技術仕様」の機能拡張の作業中



ITU-R/ITU-T
勧告化



W3C
機能提案

普及に向けた取り組み

対応テレビ受信機の
普及促進

民放を含めた
放送業界全体に拡大

災害時活用のための
インフラ整備

高機能化に向けた取り組み

サービスの開発と
機能の拡張

優先制御技術の実通信網
への適用検討

アドホック送信技術の
適用分野拡充